



公共料金等専門調査会に向けた生協の意見

コープこうべの電力小売事業の状況と
経過措置料金の解除検討にあたっての意見～

2018年 11月9日
生活協同組合コープこうべ



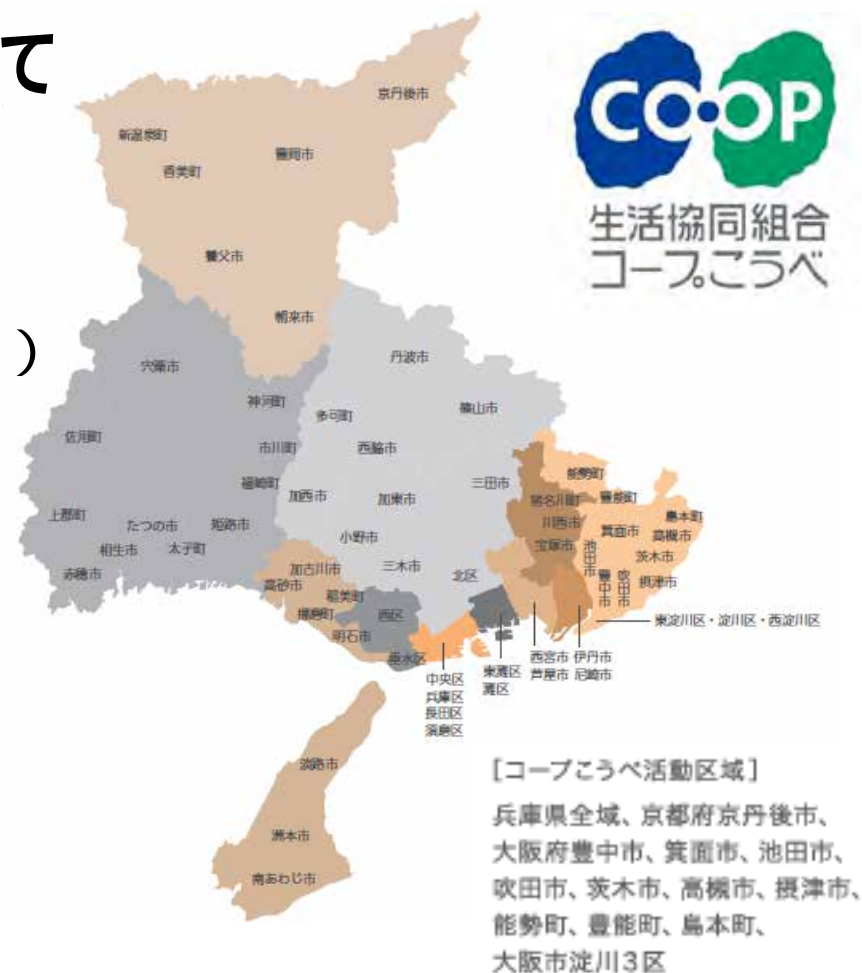
本日お話しさせていただくこと

- 1．生活協同組合コープこうべについて
- 2．生協が電力事業に取り組む背景
- 3．電力小売事業「コープでんき」の概要
 - (1) 事業目的
 - (2) コープでんきの特徴
 - (3) 事業概要
- 4．事業開始 1 年半を経た現時点の評価、今後の事業拡大に向けた課題
- 5．経過措置料金の解除検討にあたっての意見
 - (1) 電力自由化の目的の実現と公平・公正な競争環境の整備に向けて
 - (2) 経過措置料金の解除にあたって
 - (3) さいごに



1．生活協同組合コープこうべについて

- 設立 1921(大正10)年
- 組合員数 1,694,984人 (世帯加入率50.0%)
- 出資金 364.6億円
- 本部 兵庫県神戸市東灘区
- 事業エリア 兵庫県全域・大阪府北摂地域ほか
- 供給高 2,422.2億円
- 職員数 9,642人
- 店舗事業 161店舗
- 協同購入・個人宅配事業 23事業所 (訪問軒数: 48万1,487軒)
- その他事業 共済・サービス事業、食品生産事業 (六甲アイランド食品工場)、
福祉関連事業、**電力小売事業**、文化事業など



(2018年3月31日現在)

1 . 生活協同組合コープこうべについて

【生協を支える3つの柱】

利 用

商品の購入や、
くらしを充実させるさまざまな
サービスを利用できます。

運 営

「くらしを豊かにしたい」と
いう願いを実現するために
組合員みんなで話し合い、
力を合わせて運営しています。

出 資

組合員活動や商品づくり、
協同購入センター、店舗の開発
などに使われます。

【厚生労働省HPより】

<消費生活協同組合（生協）とは>

消費生活協同組合法（昭和23年法律第200号）に基づいて設立された法人で、同じ地域（都道府県内に限ります。）に住む方々、または同じ職場に勤務する方々が、生活の安定と生活文化の向上を図るため、相互の助け合いにより自発的に組織する非営利団体です。

<生協が行うことができる事業（一部抜粋）>

- 生活に必要な物資の供給事業
- 生活の改善と文化の向上を図る事業
- 組合事業に関する知識の向上を図る事業

コープこうべの定款

第1条 この生活協同組合は、協同互助の精神に基づき、組合員の生活の文化的、経済的改善向上をはかり、もってあまねく公共の福祉を増進するとともに、健全なる社会の確立に貢献することを目的とする。

2 . 生協が電力事業に取り組む背景

<コープこうべ環境憲章>（1996年 第76期通常総代会）

【基本理念】

環境問題を、……“健康・福祉・平和”を守る運動とともに、生協運動の根源的課題として……
先進的な取り組みを積極的に展開していきます。

【行動指針】

1. くらしの見直し運動をすすめ、環境保全型社会への転換を推進します。
2. 事業活動から発生する直接・間接の環境負荷の低減を推進します。

<コープこうべのエネルギー政策>（2013年 7月常勤理事会）

（1）くらしや事業で省エネルギーを進めます（へらす）

- 1）事業における省エネの推進
- 2）くらしにおける省エネの推進

（2）再生可能エネルギーの普及をめざします（つくり・つかう）

- 1）コープこうべの施設を活用した再生可能エネルギー発電を進めます
- 2）コープこうべの施設で再生可能エネルギーを使用する事業を検討します

（3）太陽光、風力、小水力、バイオマスなど、地域の資源を活用し、組合員とともに進める電力事業や地域社会に貢献できる電力事業を検討します （ひろげる）

2．生協が電力事業に取り組む背景

< 組合員への電力小売事業「コープでんき」の開始に向けた想い >

私たち消費者にとって、**電力は食料品と同様、くらしに不可欠な生活必需品**です。この電力の販売が、**2016年4月から全面自由化**されました。

自由化によって、多種多様な企業が電力事業への参入を進めています。また、私たち消費者は、これらの電力会社の中から、**価格やサービス内容・電源構成などの情報**をもとに、自分にあった**電力会社を選択できる時代**になりました。

一方で、私たちは選択の権利を得たと同時に、**選んだ結果についても責任**を持たねばなりません。現在世代の**私たちの選択の結果**が、**孫・子が生きる将来世代やエネルギーの未来にどんな影響を与えるのか**についても、思いを馳せてみる必要があります。

これまで私たち生協は、**食料品の安全・安心**において、市場品に対して**組合員の願いを反映した商品**を先進的に提案し、**選択の幅**を広げてきました。そして、**利用結集**いただくことを通じて価値を広め、**安全・安心があたりまえの社会**を組合員とともに創ってきました。**いま、電力についても、同様の価値を生協が提供できるのではないかと**考えています。

将来のエネルギー問題や環境問題に不安を感じる消費者を中心に、太陽光や水力などの**再生エネから創った電力を選択したい、地元でつくった（作り手の顔が見える）電気を使いたい**という**ニーズ**が高まっています。組合員を対象にした**アンケート調査**でも、こうした**選択肢の提供**を**コープこうべに期待する声**を多数頂戴しました（参考資料：コープでんきガイドブックP7参照）。

こうした期待に応えるべく、**2017年4月、組合員への電力小売事業を開始**しました。

3 . 電力小売事業「コープでんき」の概要

(1) 3つの事業目的

- 1) ぐらしに必要不可欠な電気を供給し、組合員の毎日の生活を
しっかり支えていく
- 2) 再生可能エネルギーや、より環境負荷の小さい電気を選びたいという
組合員ニーズに応えていく
- 3) 地球温暖化やエネルギー問題といった「コンセントの向こう側」にある
社会的課題に対して、
電気という商品の供給を通じて、組合員と共に考え、行動
していく「きっかけ」としていく

生協による新電力事業は、概ねこの考え方を基本としています。



3 . 電力小売事業「コープでんき」の概要

(2) コープでんきの特徴 「こだわりの電源構成」



「みらい 想いの電源を選びました」

コープこうべは、「コンセントの向こう側」のことを考えて電源構成にこだわり
FIT電気（再生可能エネルギー） 約30%、**天然ガス** 約70%の電気をお届けします。
たくさんの皆さんに「コープでんき」をご利用いただくことで、
再生可能エネルギーを日本全体に広めていくことにつながり、
日本のみらいの電源構成を変えていく大きな“ちから”になります。



※1 FIT電気とは・・・再生可能エネルギーを普及させる制度として、電気の利用者全体で補助を行う「固定価格買取制度（FIT制度）」があります。この制度を利用して発電された再生可能エネルギー（太陽光、バイオマス等）の電気のことです。

※2 コープこうべがこの電気を選定する費用の一部は、コープこうべの組合員で電気をご利用の方以外の方も含め、電気をご利用の全ての皆様から集めた減額金により賄われており、この電気のCO₂排出量については、火力発電なども含めた全国平均の電気のCO₂排出量を持った電気として扱われます。



2018年4月1日から2019年3月31日までの
調達電力量 (kWh) 計画値



出典：[Natural Gas Prospects to 2010]
(1986 IEA(国際エネルギー機関))

3 . 電力小売事業「コープでんき」の概要

コープでんきを利用する方が増えることが
日本のみらいの電源構成を変えていく“ちから”になります。



電源構成のほか、「誰がどんな方法で、どんな想いでつくった電気か」、「できるだけ地域の資源で地域の事業者がつくった電気を調達し地域に供給すること」、「つくり手とつかい手の顔が見える関係づくり」を大切に、エネルギーの“地産地消（分散型エネルギー社会）”を目指していく。

3 . 電力小売事業「コープでんき」の概要

コープでんきの電源紹介 (非営利型株式会社「宝塚すみれ発電」 様)



当生協パンフレットより

再生可能エネルギーの地産地消を目指した「市民発電所」を運営。宝塚でのこの市民発電の取り組みは、地元の行政・自治体、大学、地域社会とも連携した“まちづくり”にもつながっている。

- ❖ 電気を「つくる人」と「つかう人」を生協が「つなぐ」ことで、地球温暖化やエネルギー問題を身近に考えるきっかけづくりにつなげる。
- ❖ つくる人とつかう人の顔の見える関係づくり・信頼づくりは、生協農産物の「産直運動」の目指すところと同じ。



兵庫県宝塚市山手台

3 . 電力小売事業「コープでんき」の概要

コープでんきの電源紹介 (神戸市「垂水処理場」様)



神戸市の下水処理場の一つ「垂水処理場」では、下水汚泥から発生する消化ガスを利用したバイオマス発電を行っている。都市ならではの“地域資源”を有効活用した取り組み。



兵庫県神戸市垂水区平磯（明石海峡を望む）

3 . 電力小売事業「コープでんき」の概要

コープでんきの電源紹介 (兵庫パルプ工業株式会社 様)



当生協パンフレットより



兵庫県丹波市谷川



発電原料の木材チップ

関西一円と中国地方から集められる森林未利用材、一般木材およびリサイクル材を主なバイオマス燃料として有効活用。地域の森林と林業の再生・活性化に貢献。

3 . 電力小売事業「コープでんき」の概要

(2) コープでんきの特徴 「料金がお得に」



料金がお得に!

現在の標準的な電気料金 (関西電力の従量電灯A) と比べ
お得な料金設定となっています。

コープこaupの「コープでんき」の料金設定

最低料金	使用電力量料金 (1kWhあたり)
15kWhまで 279.82円	15kWh超過120kWhまで 19.75円
	120kWh超過200kWhまで 24.32円
	200kWh超過300kWhまで 24.57円
	300kWh超過 27.90円

料金比較 (年間) (税込)

使用量 (※月平均)	電気料金合計 (最低料金+使用電力量料金)		差額 (※年間)	割引率
	関西電力 従量電灯A	コープこaupの コープでんき		
50kWh	12,390円	11,647円	-743円	6.0%
100kWh	24,492円	23,615円	-877円	3.6%
150kWh	38,293円	37,015円	-1,278円	3.3%
200kWh	53,465円	51,634円	-1,831円	3.4%
250kWh	68,854円	66,513円	-2,341円	3.4%
300kWh	84,971円	82,145円	-2,826円	3.3%
350kWh	101,370円	98,051円	-3,319円	3.3%

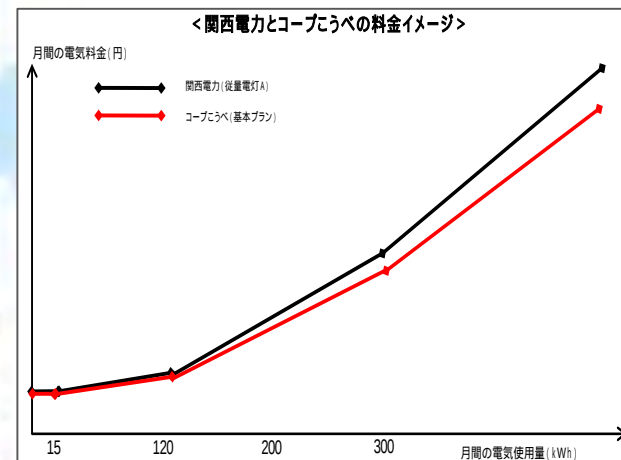
使用量 (※月平均)	電気料金合計 (最低料金+使用電力量料金)		差額 (※年間)	割引率
	関西電力 従量電灯A	コープこaupの コープでんき		
400kWh	118,834円	114,996円	-3,838円	3.2%
450kWh	135,716円	131,372円	-4,344円	3.2%
500kWh	152,944円	148,085円	-4,859円	3.2%
550kWh	170,515円	165,129円	-5,386円	3.2%
600kWh	187,426円	181,535円	-5,891円	3.1%
650kWh	204,712円	198,304円	-6,408円	3.1%
700kWh	222,342円	215,407円	-6,935円	3.1%

料金計算方法

$$\text{電気料金} = \text{最低料金} + \text{電力料金単価} \times \text{ひと月のご使用量} + \text{固定料金}$$

※2018年7月以降の関西電力の従量電灯Aの電気料金との比較です。 ※従量料金は関西電力の従量電灯Aの料金表に基づき算出しています。 ※固定料金は、関西電力の従量電灯Aの料金表に基づき算出しています。 ※電力料金単価は、関西電力の従量電灯Aの料金表に基づき算出しています。 ※固定料金は、関西電力の従量電灯Aの料金表に基づき算出しています。 ※電力料金単価は、関西電力の従量電灯Aの料金表に基づき算出しています。 ※固定料金は、関西電力の従量電灯Aの料金表に基づき算出しています。

- 当生協を含め多くの新電力は、旧一電の規制料金をベンチマークに電気料金を設定。
- 消費者にとっては、スイッチングを検討する際、旧一電の規制料金と新電力の電気料金との比較が、重要な判断基準となっている。



3 . 電力小売事業「コープでんき」の概要

(2) コープでんきの特徴 「手続きは簡単」



手続きは簡単！

「コープでんき」への切り替えはコープこうべに申し込んでいただくだけ。現在ご契約中の電力会社への解約手続きは不要です。(コープこうべが手続きをいたします)
スマートメーターの設置が必要ですが、設置費用は不要です。
また、切り替え費用や、変更に伴う各種費用も発生しません。

「コープでんき」も今まで通りの関西電力株の送配電ネットワークを通じて家庭に供給され、電線など配線にかかわる設備の管理も、これまで通り関西電力株が行うのであんしんです。



手間いらずでカンタン！

コープこうべキャラクター (コービー)



だから・・・



停電のリスクが高くなることはありません

新たな配線工事はありません



3 . 電力小売事業「コープでんき」の概要

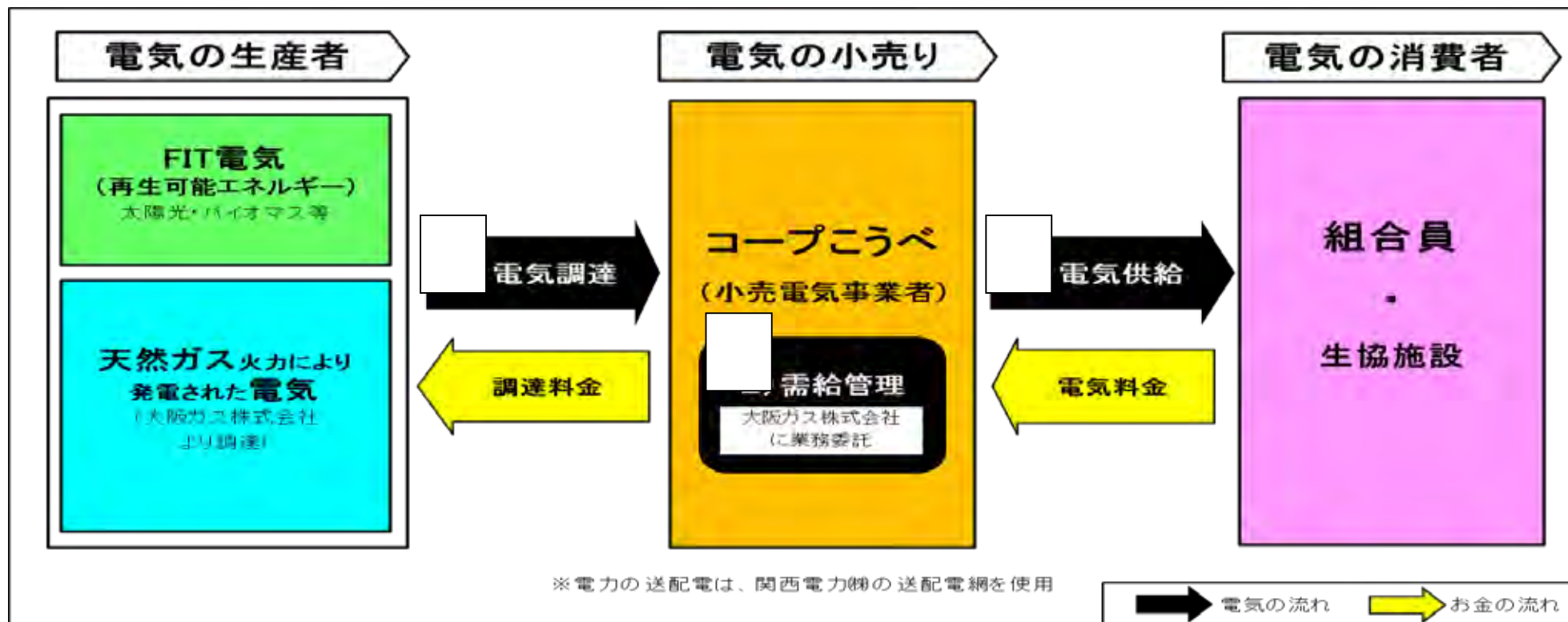
(3) 事業概要

1) 事業開始 2017年4月1日～

2) 事業スキーム

コープこうべ（小売電気事業者）が、火力により発電された**電気を調達**し、**電気を供給**。

FIT電気（再生可能エネルギー）や天然ガス**需給管理**を行い、組合員や生協施設に**電**



3 . 電力小売事業「コープでんき」の概要

3) 販売チャネル（営業拠点・営業スタッフ）

宅配業態

〆兵庫県、大阪北部の**宅配センター23拠点（約1,498区域）**
1,812名の配達員

〆顧客宅配利用の48万1,487軒を対象に営業

店舗業態

〆兵庫県、大阪北部の**161店舗**の店頭での受付営業
〆年間来店客数 約 6,509万人（平均18万人／日）を対象
〆年2回の大型加入キャンペーン

販売推進の専門チーム（10名）

〆宅配業態、店舗業態と連携した営業活動

電話・DMによる営業

組合員対象の**学習会・見学会を活用した営業**

〆地球温暖化やエネルギー問題についての学習会、「コープでんき」
産地見学会を年間38企画開催、のべ868人が参加

4) 電気料金の決済手段

〆宅配利用料金等と併徴（口座引落とし）

宅配



店舗



学習会



3 . 電力小売事業「コープでんき」の概要

5) 事業規模

低圧 組合員家庭向け

- Ø 対象：約30,000世帯（2018年11月現在）
- Ø 供給電力量：60,071千kWh（2017実績）、102,640千kWh（2018計画）
- Ø 事業規模：1,991百万円（2017実績）、2,639百万円（2018計画）

高圧 生協施設（店舗・宅配センター・事務所ほか）向け

- Ø 対象：90事業所（225契約）
- Ø 供給電力量：51,578千kWh（2017実績）、60,302千kWh（2018計画）
- Ø 事業規模：1,379百万円（2017実績）、1,323百万円（2018計画）

合計

- Ø 供給電力量：111,650千kWh（2017実績）、162,942千kWh（2018計画）
- Ø 事業規模：3,370百万円（2017実績）、3,962百万円（2018計画）

4 . 事業開始 1 年半を経た現時点の評価、今後の事業拡大に向けた課題

(1) 事業開始 1 年半を経た現時点の評価

- 当生協が保有する経営資源（顧客網、宅配・店舗事業における営業拠点・営業スタッフなどのインフラ、決済手段など）を背景に、**事業開始後 1 年半で約30,000世帯**が加入。**比較的順調**に、**顧客拡大**を進めることができている。
- 一般的に、電力小売事業は利益率の低い事業構造であるといわれる中、上記の**経営資源を背景**に、事業開始初年度から、**事業性の確保（黒字）**ができている。
- 「コープでんき」の訴求ポイントである、**電源構成**（FIT再エネ電力＋天然ガス電力）や**地産地消性**についても、共感いただける顧客（組合員）が比較的多く、旧一電や他の新電力との**差別化**につながっている。また、**旧一電（規制料金）に比べて電気料金が安いこと**についてもスイッチング勧誘時の**大きな訴求ポイント**となっている。
- 事業目的の一つである「地球温暖化やエネルギーの問題に、組合員と共に考え、行動していくきっかけづくり」についても、日々のコープでんきの営業活動はもちろん、エネルギーに関する**学習会**・コープでんき**産地見学会**、電気の作り手である**発電事業者との交流活動**など、**顧客とのコミュニケーション**を通じて“**手ごたえ**”は感じている。



4 . 事業開始 1 年半を経た現時点の評価、今後の事業拡大に向けた課題

(2) 今後の事業拡大に向けた課題

1) 営業面における課題

- 旧一電の**垂直統合**による原発電源を含む**豊富な電源保有**を背景とした「**オール電化メニュー**」に対しては、当生協も含め、**新電力は対抗できない**（プロパン普及率が高いエリアで顕著）。
- **電気・ガスとのセット販売が標準化**しつつあり、当生協のように**電気単体の新電力**にとっては営業面で**やや不利**な状況。
- スwitching勧誘時の大きな“断り文句”に、「**手続きが、面倒くさい**」、「（旧一電からの切替えによる停電リスク、停電・漏電時の保守レベル低下の懸念などを念頭に）切替えるのが**なんとなく不安**」という回答が依然多く、**新電力の説明努力だけでは超えられない“参入障壁”**を感じる。
- 現在、旧一電も含め**検針票のWEB化**が進んでおり、スitchingの基礎情報となる契約内容（供給地点特定番号やお客様番号など）がすぐに確認できない（**PWの失念・不明でWEB閲覧できない顧客が多い**）場合も多く、**契約内容の照会**に手間取ったり、**問合せ自体の煩雑さ**から、「面倒くさい」とスitchingを断念するケースがあり、**営業上の障害**となっている。また、これらの基礎情報を検針票に記載していない新電力も存在。
- 新電力にスitchingした需要家の家庭内で**電気関連の工事が発生した場合**に、電気工事店は**新電力を通じて旧一電の送電部門に工事の申請・連携する必要**があるが、**電気工事店への周知が進んでいない**こともあり、（旧一電の小売部門に比べ）工事の手続きや対応に手間取ることがあり、**スitchingした需要家が困る**ことがある。
- **新築案件の契約手続き**については、既築のスitching（切替・再点）の場合と比べ、手続きが**煩雑**であり、（旧一電の小売部門に比べ）新電力にとっては**難易度が高い**。

4 . 事業開始 1 年半を経た現時点の評価、今後の事業拡大に向けた課題

2) 電源調達面における課題

- 当生協も含めた**新電力**にとって、**電源調達先の選択肢**は（旧一電に比べ）**限定的**である。
＜調達先の例＞旧一電からの常時BU、電源保有事業者（発電事業者含む）との相対取引による調達、電力市場からの調達、FIT電気（再エネ）の発電事業者との直接受給契約による調達など
- 当生協のように、**電源構成の特色**を出したい場合、**FIT電気（再エネ）の発電事業者との直接受給契約による調達**や、**電源保有事業者との相対取引による調達**を選択することになる。
現在の電力市場からの調達は、電源種別が選択できないため。
- 新電力が調達しうる数少ない選択肢としての**FIT電気（再エネ）**については、制度開始以降、**制度変更・見直しが頻繁**。調達価格に関しては現在、**市場連動価格に変更**となっており、市場価格の乱高下により**事業予見性にやや不安**がある。今後の制度変更リスクに対して絶えず注視が必要。
- FIT電気以外の再エネの調達については、例えば**大規模水力などの安定的な再エネ電源**は、その多くを**旧一電が保有**しており、**新電力がアクセスしにくい状況**。自前の新規開発には相当の期間と投資が必要。
上記背景を受け、旧一電と新電力との電源アクセスにおける**イコールフットイングが議論**されていることは**歓迎**したい。
- **住宅用太陽光の卒FIT電源**（いわゆる2019年問題）については、新電力やアグリゲーターにとって、新たな電源調達先と需要を獲得する**ビジネスチャンス**となる可能性があるが、対象者情報を**旧一電が独占的に保有**しており、**競争上の公平性**についても**懸念**がある。
- なお、電気という**商品の財としての性質**に起因して、品質として差別化できないいわゆる“**コモディティ性**”が**強調**され、自由化後 2 年半が経過した現在、**価格一辺倒の競争に終始**する風潮が広がっており、自由化の目的の一つである「**消費者が電源構成を選択できる権利**」の**形骸化**を**懸念**している。

5 . 経過措置料金の解除検討にあたっての意見

(1) 電力自由化の目的の実現と公平・公正な競争環境の整備に向けて

- 電力自由化の最大の目的は、競争的な市場をつくり、料金の最大限の抑制や需要家の選択肢の拡大、新規参入者の事業機会の拡大を実現させることであり、そのためには、公平・公正な競争環境の整備が前提条件となる。
- 当生協としても、自由化の最大の目的は十分に理解。
- しかし、現時点の状況を見る限りでは、既述のとおり、営業面・電源調達面の観点からみても、旧一電と新電力との間において、競争環境の公平性や競争圧力が十分進んでいるとは言い難い。
- 営業面においては、スイッチングを検討する需要家に対して、（旧一電側ではなく）スイッチングを促す新電力側に、説明責任と説明に必要な付帯コストが偏在する構造とならざるを得ないことから、新電力を支援する意味でも、国においては国民への電力自由化の意義に関する一層の周知努力とともに、スイッチング促進に向けた各種施策の強化をお願いしたい。
- 電源調達面においては、旧一電に偏在している大規模水力を含む安定電源の解放など、新電力と旧一電の電源アクセスにおけるイコルフットィング促進のための施策をお願いしたい。
- また、現在検討が進んでいるベースロード電源の市場創設において、石炭・原子力・大規模水力の一括市場を想定されているが、（特定の電源を選びたいという事業者・消費者のニーズも踏まえ）電源種ごとにアクセス可能な市場整備をお願いしたい。

5 . 経過措置料金の解除検討にあたっての意見

(2) 経過措置料金の解除にあたって

- 経過措置料金（規制料金）については、現状、新電力にとっては重要なベンチマーク料金として活用されており、スイッチングを検討する消費者にとっても、規制料金との価格差が重要な判断材料となるなど、一定の役割を果たしていると考えられる。
- また、当生協も含め、新電力が電気料金を設定する際は、この規制料金を一定の上限価格として意識して設定、その売価を基準に（限られた選択肢の中から）電気を仕入れ、低い粗利益率の中、経営努力により何とか事業運営を行っているものと想定される。
- なお、当生協の事業エリア（関西地域）では、原発の全停止により、自由化当初は電気料金が全国的にも高い水準であったが、2度の原発再稼働による旧一電（関西電力）の値下げにより、現在では全国的にも低い水準になっており、関西地域はすでに消耗戦に突入している状況。

< 参考情報：関西以外の生協へのヒアリング結果 >

- 北陸地域の生協では、旧一電による豊富な保有電源を背景とした低い電気料金（規制料金：従量電灯B）のため、電源確保や価格面での競争が困難と判断、参入を見送った。
- すでに参入した東北地域の生協では、旧一電との電力調達力の差は絶対的であり、価格面で苦勞。特に旧一電のオール電化に対する切替営業は、実質的に不可能。

5 . 経過措置料金の解除検討にあたっての意見

- こうした状況下において、競争環境の公平性や競争圧力が十分進んでいない中、経過措置料金（規制料金）が解除された場合、旧一電の経営体力を背景に、規制料金の値下げ攻勢が一層進む可能性があり、新電力にとっては更なる値下げ競争に晒されることが予想。
- 規制解除によって旧一電が料金を値下げすれば、消費者にとっては一時的なメリットがもたらされるであろう反面、長期的にみると、新電力の市場撤退・市場の寡占化が進み、競争圧力の低下による電気料金の上昇、消費者の選択肢の縮小、新規参入者の事業機会の縮小など、当初の電力自由化の目的が達成できない可能性も否定できない。
- 上記の理由から、経過措置料金の解除にあたっては、新電力が直面する状況も踏まえ、その解除時期、解除内容については慎重にご判断をいただきたい。

（3）さいごに

- 経過措置料金の解除だけでなく、現在検討が進められている各種調達市場の創設、再エネ関連の制度見直し、非化石価値市場の活用施策（ 仮に購入が義務付けられた場合、電源調達上の追加コストとなる ）など、電力自由化に関連する各種施策や制度設計・見直しにおいては、公平・公正な競争環境の整備はもちろん、多様な事業者を育成・支援する観点もぜひ考慮していただきたい。
- 政府が掲げる「エネルギー基本計画」における再エネ導入目標（2030年に22～24％）の早期実現に向け、これら自由化による競争促進施策とともに、消費者による再エネ電源の選択が、社会全体の再エネ比率向上に資する（連動）していくような施策・制度設計をぜひお願いしたい。

以上